―「京都議定書」の発効を受けて

2005年2月16日に「京都議定書」が発効しました。この議定書で地球温暖化などの環境問題がすべて解決するかというと、現実は難しいのかもしれません。しかし、環境問題に対する国際的な取り組みの第一歩が踏み出されたことは確かであり、各国は温室効果ガス削減目標に向かって、より積極的な取り組みを展開していくことになります。私たちYOKOGAWAグループにおいても、これまで以上に環境保全活動を推進・実施していくつもりです。

―資源多消費型社会から資源循環型社会へ

地球温暖化問題は化石燃料に端を発するところが大きいと思います。化石燃料はCO_2（温室効果ガス）を大量発生させ、気温上昇の結果、海水の膨張や氷河等の融解が海面の上昇を引き起こし、世界各地の港湾都市やミクロネシア等の地域を水没の危機に直面させています。しかし、人類は、化石燃料にたより、代わるべきエネルギー源を完全に実用化できていません。したがって現在は、人類が新たなクリーンエネルギーシステムを構築するまでの「時間稼ぎ」の段階だと認識すべきです。

また、現代社会は実に便利なものですが、その利便性は数多くの化学物質によって支えられている部分も多いと思います。しかしながら大量の化学物質を使用することで、水質汚濁、土壌汚染や大気汚染などを引き起こしており、人類を含む地球の生態系を蝕んでいるとも言えます。これからの社会は早急に「資源多消費型社会から資源循環型社会」に移行しなければならないのは明らかだと思います。

―YOKOGAWAグループの環境経営

このような状況を認識し、YOKOGAWAグループでは環境経営を実践しています。

YOKOGAWAグループの環境経営とは、資源やエネルギーのムダをなくして経営効率を高め、健全な利益を継続的に産み出しつつ、お客様を含めた社会全体の環境負荷削減に貢献していくことです。生産が増えるとエネルギー消費量やCO_2排出量もある程度は増えざるを得ません。しかし「持続可能な社会を次世代に引き継ぐべき」私たちの世代責任を考えると、エネルギーや資源使用量の増加は最小限に抑制されるべきです。

ステークホルダーの皆様から信頼される企業を目指して

横河電機の環境担当執行役員で、経営監査本部長でもある沖野清昭が、YOKOGAWAグループが取り組んでいる環境経営やCSR活動（企業としての社会的責任を果たす活動）についてご紹介します。

環境担当執行役員　経営監査本部長　**沖野 清昭**

YOKOGAWAグループではこうした考えのもとに、具体的に次のような活動を進めています。

第一は、YOKOGAWAグループとしての環境負荷削減活動です。各事業組織の職場単位ごとで改善課題を決め、数値化された改善目標・達成目的に取り組む形で、省エネルギー活動や有害物質の削減等を推進しています。また、それらの活動成果に対して積極的に情報開示を行っています。開示においては、個々の達成成果を数値で表すとともに、グループ全体での取り組みが見えやすいように、指標（エコポイント P.12参照）を活用しています。

第二は、「お客様とともにたゆまぬ努力を重ね、お客様へのソリューション提供を通して環境問題の緩和に貢献していく」活動です。さいわいに、私たちの事業領域である「計測・制御・情報」の三分野では、お客様の環境負荷の定量的な把握、削減や生産性向上に寄与することができます。したがって私たちの使命は、優れた性能を持つ新製品を次々にお客様に提供していくことだと言えます。

第三は、YOKOGAWA人の一人ひとりが、企業市民として環境保全に取り組むとともに、その輪を各々の友人・知人、地域の皆様のあいだにひろげていくことです。家庭部門における電力消費量の伸びが、公共部門や産業部門のそれを大きく上回っている現在、こうした活動も重要な取り組みだと考えています。

—より信頼される企業を目指して

近年、企業を評価する社会の視線が、「どれくらいの利益や売上を上げているか」だけでなく、「いかに社会に貢献しているか」にも向けられるようになっています。YOKOGAWAグループでは、こうした視線の変化以前から、環境への取り組みはもとより、企業倫理やコンプライアンス（法令遵守）に注力しており、利益や株価だけでなく、広く社会に貢献する企業像を追求しています。

具体的には、高齢者や障害者の雇用において、その能力を活かした人材活用に取り組んでいます。また、各工場が立地する地域社会に対しては、近隣住民とのふれあいを大切にしています。さらには、従業員による駅前清掃や、玉川上水の環境浄化運動などを実施しています。2004年度は、こうした取り組みに対して、経営倫理実践研究センターより、「経営倫理努力賞共生特別賞」を受賞しました。

YOKOGAWAグループの環境経営

YOKOGAWAグループは、
全事業領域において
- ●環境活動を積極的に展開すること
- ●環境活動をベースにお客様へ環境ソリューションや環境調和型製品を提供すること

により地球の環境負荷低減を目指していきます。

そしてこれらの活動を通して
YOKOGAWAグループは、
お客様とともに持続可能な
社会の構築に貢献していきます。

全事業領域：経営トップ、企画、研究・開発、設計、販売、調達、生産、物流、サービス、回収・リサイクル
環 境 活 動：省資源・省エネルギー、環境汚染の予防、廃棄物削減とリユース・リサイクルの推進等